

議案質疑

第1回定例会に提出された議案に対する質疑と回答の主なものは次のとおりです。

動画視聴はこちらから



○議案第19号

地方独立行政法人茨城県西部医療機構第3期中期計画の認可について

問 第2期中期計画の取組について、コンサルタントの経営分析による課題の指摘、提案の内容は、また、それらが第3期中期計画原案に新規取組等として反映されているか。

答 病床稼働率が80%未満にとどまっていること、人件費と委託費が医業収益の約8割を占める硬直的な費用構造が課題として指摘された。これらの課題を踏まえ、第3期中期計画原案では、地域包括ケア病棟への転換による病床稼働率の向上、委託業務の一部内製化による委託費の削減、総合診療医の育成強化による常勤医の確保、そして各診療

科収支の見える化による経営改善管理の徹底などが具体的な取組として反映された。

問 この計画を承認するに当たり、市のチェックは担当部署だけで行ったのか。

答 本市のチェックプロセスについては、担当部署のみで行ったものではなく、茨城県西部医療機構において原案作成後、外部有識者による評価委員会での審査に加え、庁内内部組織である運営検討会においても全庁的な視点から協議・検討を重ねてきたところ。また、検討期間中には、適時、市長へ報告を行い、方針や情報共有を図った上で策定を進めてきた。

○議案第31号

筑西市蓮沼忠雄育成基金条例等の廃止について

問 直近の同基金の残高と廃止後の取扱いは。

答 令和8年2月末現在、育成基金が500万円、育成運用基金が174万3,082円。基金廃止後の残高については、学校教育施設整備基金に積立てを予定している。

総務企画委員会

◎中座 敏和 ○鈴木 一樹

水井 信雄 國府田和弘

石嶋 巖 水柿 美幸

堀江 健一 榎戸甲子夫

◎委員長 ○副委員長

議案6案を審査しました。
いずれも原案のとおり可決しました。
(※議案は議決一覧表参照)



○議案第24号

第3次筑西市総合計画における基本構想について

問 本市の都市機能を集約した場合にその周辺部はどうするのか。

答 都市機能だけに注力するわけではない。周辺の集落・農村部の地域に、道路網や公共交通機関を組み合わせてネットワーク化し、都市部につなげての生活利便性向上や都市部へのアクセス性の確保を考えている。

問 総合計画策定に当たり、今後、市民との接点をどのように持つのか。

答 アンケート調査の実施、市民ワークショップ、若者ワークショップを開催している。多くの方からの意見を取り入れていきたいと考えている。

○議案第41号

財産の取得について

問 消防車両の耐用年数は20年が判断基準なのか。また、旧車両は公売に供するというのが、具体的にどのような行うのか。

答 日本消防検定協会の消防用車両の安全基準に使用期限は製造者(メーカー)が設定して、使用者へ提示するものと記載されている。15年とするメーカーもあるが、本市の消防車両については、整備点検を的確に行い、必要な部品の交換を行うことにより20年更新と設定している。旧車両の公売については、令和6年度は官公庁オークションにて売却をしている。



福祉文教委員会

- 大嶋 茂 ○塚田 砂与
- 吉富 泰宣 三澤 隆一
- 藤澤 和成 増淵 慎治
- 仁平 正巳 三浦 謙
- 委員長 ○副委員長

議案 14 案を審査しました。
いずれも原案のとおり可決しました。
(※議案は議決一覧表参照)



○議案第15号 財産の取得について

問 ランドセルの色のバリエーションを増やす考えは。また、ランドセルは義務ではないことから、受取りを希望しなかった方への対応は。

答 色が増えると単価が上がる可能性があるとの回答を業者から受けてはいるが、今後、検討していきたい。ランドセルは義務ではないものの、受取りを希望しない方への

代替品等は支給していない。

○議案第29号

筑西市総合福祉センター条例の一部改正について

問 総合福祉センターの浴室を廃止するとのことだが、その経緯は。

答 老朽化により部品交換では対応できず、撤去費込みで修繕に約2,200万円かかる見込みである。また、施設そのものが、昭和60年3月竣工の建物であり、老朽化に加え洪水浸水想定区域に建築されていることなどから総合的に判断した。

問 これからの高齢化社会の中で、単なる憩いだけでなく、お風呂も使えるという施設の利用価値の検討は行ったのか。

答 高齢者の生きがいを提供することは重要であり、様々なイベントを行っている。お風呂だけが生きがいの場合というわけではなく、交流等は図れていると考えている。市内には、道の駅のシャワーや筑西遊湯館、あけの元気館もあるため、お風呂の利用については、そちらを活用いただきたい。

※ 議案第19号に関する審査については、18ページをご覧ください。

経済土木委員会

- 保坂 直樹 ○小倉ひと美
- 新井 暁 日高 久江
- 森 正雄 田中 隆徳
- 秋山 恵一 赤城 正徳
- 委員長 ○副委員長

議案 4 案を審査しました。
いずれも原案のとおり可決しました。
(※議案は議決一覧表参照)



○議案第20号

令和7年度筑西市一般会計補正予算(第9号)

◇企業版ふるさと納税寄附金

問 寄附した企業は何社か。

答 37社から寄附をいただいている。

問 企業版ふるさと納税をいただくに当たり、市が使用した経費はいくらか。

答 令和7年度年度の執行額で110万円ほどである。

◇市民農園運営管理事業

問 市民農園の利用者の推移は。

答 令和5年度が177区画で78名、令和6年度が145区画で65名、令和7年度が118区画で52名である。

問 市民農園の利用者は、返還予定のところを返還しても利用は続けられるか。

答 現在、市内の市民農園では、民間事業者による貸付け農園が実施されており。民間事業者が委ねることとしても、事業の継続が可能と判断でき、市が運営主体として行う必要性も低下しているため、市民農園の規模縮小を検討している。

◇かんがい排水事業(車堰)

問 県営かんがい排水事業で車堰の場所はどこなのか。また、どの河川なのか。

答 車堰の場所は、栃木県真岡市石島地内である。こちらは、河間土地改良区が関係団体となっており、樋口地内と落合地内が受益地となっている。河川については、五行川となっている。